

iPS細胞バンキングサービス

miPSC™ (マイ・ピース)

Peace of mind with iPSCs

iPS細胞技術を通じて一人一人の生涯の健康を守り、安心して幸せな生活を導く。
その実現に貢献することが、我々I Peaceの使命だと考えます。

I Peace's mission

皆が自分の細胞を持つ未来を実現する

I Peace (アイ・ピース) は、高い技術を用いてiPS細胞の量産化技術を開発することで、多くの方々の手に高品質なiPS細胞を届けます。

細胞を活用した医療の発展に貢献する

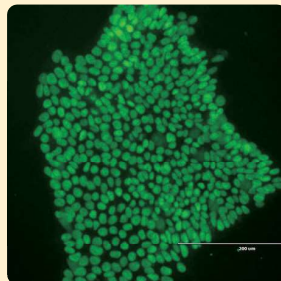
I Peace (アイ・ピース) は、iPS細胞技術を活用して、再生医療や創薬の未来に貢献して参ります。

miPSC™ (マイ・ピース) とは

将来の再生医療等への活用が期待されるiPS細胞をお客様の血液から作製し、保管するサービスです。医療用グレードの細胞を作製します。

iPS細胞の特徴

1. 体のあらゆる種類の細胞から作製可能
(I Peaceでは血液を使用)
2. 体の様々な組織や臓器(心臓/神経/皮膚等)の細胞に変化できる
3. 無限に増殖するので、必要な数の細胞を獲得できる



あらかじめ自分のiPS細胞を バンキングしておく意義について

なぜ将来ではなくて、今すべきなのか？ 重要な4つの視点があります。

将来の臨床応用に向けて

現在、様々な疾病にiPS細胞を使った治療を適用するための研究が進められています。自分のiPS細胞があれば、治療への適用が認められた際にスムーズに治療へと活用できると考えられます。

いざという時の備え

iPS細胞の製造には時間がかかります。あらかじめiPS細胞がバンキングされていれば、時間との戦いとなる怪我や病気にタイムリーに活用ができ、いざというときに有効活用できる可能性が高まります。

品質評価に時間が必要

医療用としてiPS細胞を使うためには、品質評価を行う必要があり、時間が必要です。これらの準備をあらかじめ済ませることで、将来iPS細胞が必要になった際の活用に備えることができます。

遺伝子の傷が少ないうちにiPS細胞を作製・保管

年齢を重ねるにつれ、また抗がん剤などの薬を使うことで、僅かずつではありますが遺伝子には傷が入ります。少しでも傷の少ない細胞からiPS細胞を作製することが将来の治療につながります。



miPSC™(マイ・ピース)を通じてできること

今すぐ

iPS細胞を使った最新の再生医療、
創薬研究の加速に貢献※1

将来

自分のiPS細胞を
活用して実際に病気を治療※2

貢献

活用

iPS細胞を活用した治療の研究が進んでいる病気の例

加齢性黄斑変性

がん

網膜疾患

血液疾患

パーキンソン病

心臓疾患

糖尿病

関節疾患

脊髄損傷

神経疾患

※1 お客様のご同意が頂ける場合に限りです。※2 具体的な治療応用についてはお客様の担当医の先生や医療機関にご相談ください。

サービスの流れ

I Peaceでは、ノーベル賞を受賞された京都大学の山中教授の研究室出身のCEOと
iPS細胞製造チームが責任をもってお客様のiPS細胞を作製・製造いたします。安心してお任せください。

サービスの流れ

同意書・契約書のお手続き

1

サービス
ご案内・ご説明

2

同意書/
契約書のご送付

3

同意書/契約書への
質疑応答
(必要に応じて)

4

書類ご確認/
熟慮期間

5

同意書・契約書
サイン

iPS細胞作製のお手続き

6

採血

7

受け入れ検査
(ウイルス検査)

8

細胞製造
開始

9

細胞製造
終了/
品質検査

10

保管



スケジュール

- お申込みいただくまでの期間に適宜ご質問等の対応をさせていただきます
- iPS細胞作製開始から保存完了まで約2～3か月かかります

タイミング/期間	項目
資料送付日	お客様同意書（インフォームド・コンセント）、お客様契約書・申込書のご送付
	お客様同意書（インフォームド・コンセント）、お客様契約書・申込書ご確認
資料送付日より約1か月程度を目途	I Peace宛て署名済み契約書・申込書送付 （お客様同意書に関しては、採血時にご説明の上署名を頂きます）
契約締結後	I Peace指定病院における採血 ※場所、時間などは別途ご案内となります。
お支払い1回目	
	受け入れ検査
受け入れ検査結果判明後、お支払い2回目	
採血後1か月以内	I PeaceにてiPS細胞の作製を開始
作製開始から2～3か月程度	iPS細胞製造終了予定
	お客様への作製完了のご報告
お支払い3回目	

I Peaceはお客様の安心・信頼を大切にしています

- 医療用に活用可能な高品質なiPS細胞
- 血液を使用するので、採取の際にウィルスその他異物による污染の心配がない
- 日本再生医療学会の臨床培養士制度認定を受けた、臨床用iPS細胞の製造経験を持つ熟練技術者による監修・製造
- 厚生労働省から特定細胞加工物製造許可を取得済
- 米国の民間研究倫理審査機関 WCG IRB より、医療用iPS細胞製造に関する倫理的課題をクリアしたとの承認取得済
- プライバシーマーク取得
- 「JISQ15001個人情報保護マネジメントシステムー要求事項」への適合